

那覇軍港の将来のまちづくりに向けて 情報誌

発行：那覇市 まちなみ共創部 技術総務課 那覇軍港跡地利用推進室

協力：那覇軍用地等地主会

今年度の活動内容の報告

那覇市は、那覇軍港（那覇港湾施設）返還後の跡地利用に向け、地権者等との合意形成活動を進めており、今年度は、地権者の皆様への情報発信として「がじゃんびら通信」の発行と、「組織づくり」に向けた取り組みとして、「那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会」の定例会（3回。うちフィールドワーク1回）、地主会理事会と次世代の会との合同意見交換会等を実施しました。

今回は「組織づくり」に向けた取り組み（「次世代の会」の活動等）について一部ご紹介します。

次世代の会とは？

垣花出身の次の世代が集まり、地権者の先達の皆さまが活動していることを引き継げるように、早い段階から将来の那覇軍港のまちづくりを考える準備をしている組織です。



定例会の様子

定例会 63回

自主会 18回

視察会・フィールドワーク 14回

他返還軍用地の組織との合同意見交換 5回

地主会理事会との合同意見交換会 4回

平成25～令和6年度
までの活動

『今までの視察会・フィールドワーク先』

ギンバル訓練場跡地（2回）／那覇軍港内／アワセゴルフ場跡地／牧港補給地区沖合／那覇港若狭バース・大型クルーズ船内／那覇まちまーい（2回）／真珠道巡り／長虹堤巡り／北谷町西海岸エリア／那覇新都心地区／道の駅ぎのぞ／西普天間住宅地区

※検討成果は第28号をご覧ください。

① 地主会理事会と次世代の会の合同意見交換会

両者の顔合わせ、「次世代の会」の活動紹介、跡地利用計画を検討する各組織の役割等の意見交換を目的に「地主会理事会」と「次世代の会」で合同意見交換を行いました。

現在、跡地利用計画を検討する組織は、地主会側の「那覇軍港跡地利用将来ビジョン委員会」、「次世代の会」のほか、今後、那覇市側に地権者をはじめ関係者が共通の場で協議・調整を図るための「跡地利用計画策定委員会」の立ち上げを予定しています。

意見交換の中では、『お互いの考えを上手く融合させて3者で早期に統一案を作成すべき』というご意見等が挙がり、那覇市としても令和8年度からの跡地利用計画策定に向けて各組織がどのように連携すべきか検討していきたいと考えています。

令和6年度
の活動報告



「次世代の会」の活動紹介の様子



②フィールドワーク(キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地)

那覇軍港の跡地におけるまちづくりに通ずる知識習得や議論の深化につなげるため、現在も事業中である「キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)」の跡地利用に携わっている宜野湾市様より、跡地利用に関連した制度や取組等について講義いただき、現地視察をしました。

アンナ橋

戦前から残る貴重な自然地形である「インジャー緑地」を保全する目的で建設された県内初工法のアーチ橋



琉球大学医学部

令和7年4月に開学予定



エネルギーセンター

緊急時に1週間の電力供給が可能



西普天間住宅地区(面積50.7ha)は、「沖縄健康医療拠点を核とした都市機能と水・みどり・文化の調和した住環境がつながるまち」をコンセプトに、土地の歴史や文化の継承、自然環境・景観資源の活用等に留意して、土地区画整理事業による都市基盤整備や良好な市街地環境の形成を推進しています。また、琉球大学医学部及び大学病院の移転により、「高度医療・研究機能の拡充」、「地域医療水準の向上」、「国際研究交流・医療人材育成」の中核を担い、「沖縄健康医療拠点」としての役割・機能を果たしていくこととなっています。



講義の様子

講義の中では、西普天間住宅地区に関する土地の先行取得事業、拠点返還地の指定、支障除去措置、文化財調査の状況、沖縄健康医療拠点に関するソフト事業への取り組み、建築物の高さ制限等について学びました。同地区に関する内容は宜野湾市ホームページ(HP上から「西普天間住宅地区トップページ」で検索)から一通りご覧頂けます。

那覇市は、市の発展、ひいては沖縄県の発展に資する計画づくりを目指して、次年度以降も地権者等との合意形成活動に取り組んでいきます。

「がじゃんびら通信」の内容及び那覇軍港跡地利用に関するお問い合わせ・ご相談は下記までお尋ねください。
※今年度から担当課が技術部門の「まちなみ共創部 技術総務課」へ変わりました。(昨年度「平和交流・男女参画課」)

那覇市 まちなみ共創部 技術総務課 那覇軍港跡地利用推進室

担当: 安里・石嶺

TEL: 098-861-6906 FAX: 098-917-1382

『がじゃんびら通信』バックナンバー 

